

# 知的障害者施設 国際交流派遣 プログラム



平成 18 年 3 月 2 日～3 月 8 日  
ハワイ島にて



特定非営利活動法人  
知的障害者国際交流機構

# 第1回知的障害者施設国際交流派遣プログラム団員

団長 社会福祉法人 東京都知的障害者育成会理事

社会福祉法人 さくらの園 第二さくらの園施設長 山 本 恵 子

団員 社会福祉法人 東京都知的障害者育成会理事

北区愛の会第二福祉作業所 施設長 大 栄 美 喜 子

王子福祉作業所 大 栄 珠 代

第二さくらの園 安 藤 進

保護者 安 藤 陽 子

第二さくらの園 長 島 由 紀

保護者 長 島 和 子

第二さくらの園支援員 田 中 み よ 子

福生学園 田 中 哲

福生学園 田 中 悠 紀 子

添乗員 株式会社 ジェイティービー

関 裕 之



## 知的障害者施設国際交流派遣プログラム・ツアー

	日時	都市	時間	交通機関	スケジュール	食事
1	3月2日 (木)	成田発	21:10	NW022	— 国際日付変更線 —	機内
		ホノルル着	08:40 11:00 午後	専用車	ホノルル空港到着、レイグリーティング。 ハワイ州レセプション アラモアナショッピングセンターで各自昼食後、 簡単な市内観光後、ホテルチェックイン(15時以降) 【ホノルル泊】	機内 昼:— 夕:—
2	3月3日 (金)		午前	専用車	ヘレマノプランテーション訪問&交流 昼食後、空港へ	朝:— 昼:○ 夕:○
		ホノルル発	14:55	AQ236	ハワイ島へ	
		ヒロ着	15:45	専用車	到着後、市内でショッピング&夕食 宿泊施設へ 【ヒロ泊】	
3	3月4日 (土)	ヒロ			自由行動 近くのホットポンド(温泉と海水)を訪問予定。 【ヒロ泊】	朝:— 昼:— 夕:—
4	3月5日 (日)	ヒロ	午前 午後	専用車	※この日宿泊先交代になります。 シャンペンポンドで海水浴&キラウエア火山国立公園 観光 【ヒロ泊】	朝:— 昼:— 夕:—
5	3月6日 (月)	ヒロ	09:00 09:30 午後 夕刻 夜	専用車	ヒロ市庁舎と市長 訪問 ARC訪問:チャレンジド5名は半日プログラム参加 プナカムリ訪問(13:30~15:00) ヒロ市内観光 プナカムリ作業所でさよならパーティー(17:00~19:00) 宿泊施設へ 【ヒロ泊】	朝:— 昼:○ 夕:○
6	3月7日 (火)	ヒロ発	朝	専用車	空港へ	朝:—
		ヒロ着	11:10	AQ247		昼:—
		ホノルル着	11:58		乗り継ぎ	機内
		ホノルル発	14:30	NW021	— 国際日付変更線 —	
7	3月8日 (水)	成田着	19:00		到着	機内

※枠内 の手配はNPO知的障害者国際交流機構の手配になります。

☆時間の目安

早朝	朝	午前	午後	夕刻	夜	深夜
----	---	----	----	----	---	----

04:00 06:00 08:00 12:00 16:00 18:00 23:00 04:00

## 訪問先（予定）について

- ※ ヘレマノプランテーションは、1980年に現代表である Ms. Susanna F. Cheung により設立され、知的障害を持つ方へ様々な機会を与えています。  
ヘレマノグループでは住居施設を提供するとともに、センター内のレストラン、ギフトショップ、ベイクショップ、農場、ガーデンでの研修や仕事の機会を与え、障害を持つ方を支援しています。今回はそのヘレマノプランテーション内の施設（職業訓練コースや住居施設など）見学、フラレッスン体験、更にランチビュッフェをお楽しみいただきます。
  
- ※ ARCは、1950年に米国において、知的障害者の親のグループと知的障害者活動に関心を寄せた人々により創設された会であり、現在は全米に約1000の支部（14万人の会員）をもつ公的機関となっています。知的障害者とその家族の支援と各種サービスを促進、発展させていくことを使命として、早期（幼児、児童期）のうちの知的発達遅滞を予防する為の研究と教育プログラムを開発

## 国際交流プログラム「ハワイ研修旅行」

社会福祉法人さくらの園 第二さくらの園  
施設長 山本恵子

私たちのこの旅行は、小規模作業所に通所する知的障害者とその親たち11名で構成された。初めて海外に出る人、もう海外旅行は慣れ慣れになってはしゃぎ回る人・・・様々である。「ハイー　ハワイ到着」こんな声に喜びを感じ、ワクワク気持、花のレイを首に掛けてもらって満足げ、ここから研修旅行は始まった。

まず「ヘレマノプランテーション」(障害者通所授産施設)へ・・・  
オアフ島を南北にはしる道路の中間点にあり、ドライブをしたときには必ず立ち寄りたくなるだろう憩いの場所に、この施設は建っていた。大きな悠々としたパイナップル畑で作業をし、売店、食堂などでも作業実習のできる大きな企業である。  
ここを訪問した時、数人の障害者には迎えられたが、思う数ほどの障害者には会えなかった。よくよく聞くと、この近くに基地があり、ジョブコーチがついてそこに働きに行っている人が多いと聞いた。このような連携の下に多くの障害者の就労に向けて頑張っている様子に、今の私たちの授産施設との合致点を見た。

ハワイ島では、家族が中心になって営む小さなプナカマリ作業所を訪問した。作業は農作業、切り花を包む大きな葉を栽培していた。どの障害者ものびのびと働いている。この作業所に15歳の女子学生がジョブコーチに付き添われ実習に来ていた。学卒後 就労見込みのある人には、学生の時から、就労に向けての企画が組まれているようだ。利用者の中に、指圧の上手な人、フラダンスの出来る人、ハーモニカの上手な人がおり、それぞれの個性を大切に育む作業所に思えた。

どこの施設でも、フラダンスのレッスンに仲間入りし、レイ造りに没頭し楽しい一時を過ごさせてもらった。

今、日本の福祉は、大きな変革の時期に在ります。自立支援法が施行され、私達もその渦の中でもがいている毎日です。ノンビリムードに見えるハワイでもしっかりした福祉がなされ、障害者が楽しそうに伸び伸びと頑張っている様子に感動しました。

## ハワイ旅行

安藤進

3月2日から8日まで 山本先生と田中先生と 合計11名で成田空港からハワイに行きました。機内食は半分食べました。それから寝ました。ホノルルに着いてパスポートを持って指紋をして、写真をとりました。関野さんが待っていました。歓迎の花をかけてもらいました。いいにおいがしました。ホノルルの市長さんに会って来庁証明書をもらいました。ホテルに着いてから、泳ぎに行きました。楽しかったです。

2日目にヘレマノプランテーションを訪問して 花を首にかけてもらいました。作業所を見学してバイキングを食べました。おいしかった。1ドル25セントでポストカードを1枚買いました。うれしかった。また、飛行機に乗ってハワイ島のヒロに着きました。エンジェルハウスに着いて英語放送のテレビを見ました。シャワーをして寝ました。

3日目ホットポンドで泳ぎました。水は温かいでした。外人さんも泳いでいました。シャワーは冷たかった。4日目はキラウエア火山を見ました。大きな穴があいていました。展示品も見ました。今度はカポホ貸別荘に行きました。僕はおなかの調子が悪いので泳がないで寝ていました。

5日目は、朝食の時に海に太陽がきれいでした。やしの木が沢山ありました。新聞と番組がなかったです。ヒロ市長さんに会ってあく手をしました。証明書をもらいました。それからARCに行って日本語とハワイ語の1から10までのことばの勉強をしました。粉とか計ってクッキーの材料をビンに入れて、おみやげにももらいました。家に帰ってクッキーを作って食べました。プナカマリ作業で一輪車をひいて葉っぱを切ったり、木を植えました。シュレッターで新聞を切った時は楽しかった。花輪を作って、歌ったりした。おなか痛かったけどがんばった。パーティで少し食べた。

6日目はヒロ空港からホノルルに来て 7日目は成田空港に帰って来ました。解散して 家に帰って日本語のテレビを見ました。関野さん、関さん、山本先生ありがとうございました。

## 知的障害者施設国際交流派遣プログラムハワイの旅

社会福祉法人さくらの園 第二さくらの園  
支援員 田中みよ子

平成 18 年 3 月 2 日、山本恵子団長（社会福祉法人さくらの園 第二さくらの園施設長）以下 4 家族 10 人が、成田空港に集合してこのプログラムは、始まりました。



1 日目：レイグリーティングの後、ハワイ州のレセプションに臨みました。その席で日本から持参しました。羽子板と手まりをプレゼント。歓談の後、訪問した証明書を頂きました。

障害を持っている子供と一緒に旅行する事について大変感動していただきました。夕食は、子供の希望でラーメンでした。

2 日目：バケツの水をひっくり返したようなスコールで目を覚ました。この日は、ヘレマノプランテーションを訪問しました。職業訓練の様子と住居施設の見学、フラダンスのレッスン体験、更にランチビュッフェを楽しみました。利用者が、ランチビュッ

フェで生き生きと働く姿は印象的でした。午後、ハワイ島のヒロへ移動しました。軽井沢の趣のある「エンジェルハウス」が、これから 2 泊する宿泊施設です。

3 日目：昨日地元のマーケットで購入した食材で朝食を作り、時間の贅沢と料理を味わいました。午後、ホットポンドで海水浴。子供が泳ぐ傍を魚が泳いでいるのを見てびっくり。夕食は、屋外焼肉パーティー！皆たくさん食べました。

4 日目：午前、キラウエア火山国立公園を観光。広大なクレーターと溶岩の眺めは、壮観でした。午後、シャンペンポンドで海水浴でした。亀が住みついており、人間を全く怖がりもせず、悠々と泳いでいるのですが、子供は水中に潜りその様子を楽しそうに見ていました。この日宿泊施設交代でカポホ貸し別荘へ移動。海がすぐ近くでした。

5 日目：ヒロ市庁舎と市長を訪問しました。おみや

げの着物と手まりをととても喜んでいただきました。そして私達の話

を熱心に聞いてくださいました。次に二つ目の作業所 **ARC** を訪問しました。パソコンを用いた教育プログラ

ムの見学、ハワイ語の学習、クッキーの計測実習、フラダンスのレッスン等親子で体験しました。午後、3 番目のプナカムリ作業所を訪問しました。ここでは、レイ作りに挑戦しました。その後、ガーデンでの研修、シュレッダーによる新聞紙の裁断、フラダンスのレッスンそれから、全員で手をつなぎ日本の歌を合唱しました。（皆さん日本語でうまく唄えますね。びっくりしました。）心と心の通い合いを感じました。そして、このツアー最後のイベント「さよならパーティー」が始まると、随所に人の輪ができてきました。お互い情報交換のため、貧しい英語力を駆使しな



がら会話を繋げていきます。言いたかった事の半分も伝えられませんでした。別れ際しっかりと抱き合い、「お互い子供達のために頑張らしましょうね」と気持ちの確認をしました。

6日目：ヒロからホノルルを経て成田空港に無事到着。こうして5泊7日の旅は、終わり、そして日本モードのリセットボタンに戻りました。3箇所の作業所を訪問し、利用者・職員・保護者と交流して感じたこと ①皆、障害者は明るく楽しそうに一生懸命働いていました。私の勤務している作業所の利用者も同じです。②ハワイ州から安い賃貸料で土地を借り受けるなど運営がしやすい環境に思えました。また、利用者の工賃が多くて驚きました。③施設・作業所がとても広く、利用者が伸び伸びしている感じを受けました。日本ではとても確保できないスペースでした。④地域の特性をうまく利用して（例えば、切花の栽培と出荷・フラダンスの習得など）仕事、トレーニングに取り入れていました。この経験をこれからの仕事の糧にしていきたいと考えています。





## 国際交流派遣プログラム添乗体験

株式会社ジェイティービー

関 裕之

NPO 知的障害者国際交流機構企画の「知的障害者施設国際交流派遣プログラム」に今回添乗員として同行しました。

ホノルルのヘレマノプランテーション、ハワイ島ヒロのARC、プナカムリ作業所との国際交流は、施設見学やレクチャーだけでなく、チャレンジッドの皆さんにいろいろな交流・体験をしていただけて充実していたと思います。

また、ARCとプナカムリ作業所を訪問して、同じ国や地域でありながらチャレンジッドへの関わりについて全く異なる目標・目的を掲げていたり、運営方法も異なっていることを知り、興味深く感じました。

今回ホテルでなく、貸し別荘を利用してグループで自炊するという体験も一般のツアーではなかなかできないもので、共同生活やチームワークを学ぶ上でも貴重な体験になったと思います。

## 「知的障害者施設国際交流派遣プログラム」実施報告

特定非営利活動法人 知的障害者国際交流機構

関野和彦

東京都育成会のメンバー10名が、平成18年3月2日～3月7日にかけてハワイを訪問し、現地の施設においてハワイの青年、そのご家族、ジョブコーチと国際交流をしました。

まず一行は3月2日のハワイ到着日にホノルルのハワイ州庁舎にて、米国下院観光・文化委員会委員長ジェリー・チェング下院議員より、ハワイ州訪問記念証の贈呈を受けました。

翌日3日は、オアフ島の中部にあるヘレマノプランテーション（障害者通所授産施設）を訪問しました。この施設では100名の青年、45名のジョブコーチと55名のスタッフが従事しております。観光名所であるパイナップルのドールに隣接する好立地を生かしてのレストラン、お土産店の経営が成功しております。ここの大規模な敷地は、ハワイ州政府、ドールからほとんど無償に近い値段で売却してもらったとのことでした。施設内には、男女のグループホームもあり、整理整頓が良く行き届いていました。ヘレマノプランテーションの青年達は意欲的に働いていました。その理由を聞きますと青年達の労働意欲向上の為に、勤務成績によって、自分の希望する国への海外旅行が授与されるとのことでした。

この為に、次の3つの決まり事をボードに貼っていました。

### ●適性と基準

1. お金を稼ぐために働くこと。
2. 自分の目的を達成する。：健康・身だしなみ・清潔
3. 適切な振る舞いと、積極的な態度を取る。
4. お金を節約して使う。

### ●トラベルトレーニング： 次の事を教えている

1. 安全 2. 飛行機とバスでの旅行 3. 外食 4. ショッピング 5. エチケットを守る。6. 荷造り：何を持っていくか。 7. 日程を作る。 8. 何か問題が起きた時には、どのように解決するか。

### ●目的地を理解する： 旅行目的地の勉強をします。

1. その地方の文化 2. 言葉と習慣 3. 地図の上で確認 4. その地域の地理・歴史
6. そこへ行って何をするか。

同日の午後、アロハ航空にてハワイ島のヒロに向かいました。ヒロは豊かな大自然に囲まれた、ハワイで最もアロハスピリット（やさしさと思いやり・調和と融合・喜びを持って柔和に・ひたすら謙虚で・忍耐と我慢）のあるところと言われていています。また、日系人移民の町でもあり、日系1世・2世の方々のご苦労されたところです。ヒロ空港到着後、日系1世のご夫婦が行商から始められて、現在は大型チェーンストアとなったKTAで食料品を買い、宿泊先のエンジェルハウスとカポホ別荘に到着しました。両宿舎とも団員の皆様に取りましては、ホテルとは違った外国の一般住宅に滞在する良い経験となりました。

翌日の4日は自由行動日であり、エンジェルハウスの別荘地の探索と海水と温泉が混合する天然温泉プールがある海辺のアハラヌイ・パークへ行きました。

翌日5日はキラウエア火山国立公園を訪問して、広大なクレーターを見学しました。帰りは海岸へ向かう有名なハワイ島原生林の街道（街道の両側には天然のマンゴが群生しており、7～9月は多くのマンゴを収穫できます）を通り、カナパナドライブに向かいました。1月～3月にかけては、この海岸線から鯨のジャンプを近くで見ることができます。カポホ別荘到着後には、同別荘地内にある海岸の入り江のシャンペンコーブで海がめと熱帯魚と一緒に泳ぎました。

翌日の6日は、ヒロ市庁舎を訪問してハリーキム市長とお会いしました。同市長は正式にはハワイ島郡長と言い、ハワイ島の施政の長です。団員ひとりひとりにヒロ市訪問記念証を渡された後に、次のようにお話されました。「多くの人々は、ここにおられる保護者の方々が息子さん、娘さんと外国でも一緒に来られるお姿を見て、非常に感動をすることでしょう。実は昔のことになりますが、私の家族にもチャレンジッドの兄弟がいて、父と母は恥ずかしさから、そのことを隠すように生活をしていました。」この市長のおことばは、その場におられた保護者の方々に大きな励ましを与えられました。

この後は、ARC in Hilo を訪問しました。ここは全米組織の NPO 法人障害者通所授産施設であり、150 名の青年と 15 名のジョブコーチ、40 名のスタッフが働いています。ここではジョブコーチの指導により、ハワイ語数字の教え方、クッキーの材料調合を学習しました。また、ARC の仲間と一緒にフラダンスを踊りました。

この日最後の訪問先は小規模民間作業所のプナカマリ作業所です。ここでは訪問団の保護者とプナカマリ作業所長のネルソン夫妻との間で熱の入った話し合いがもたれました。まずは、作業所設立の経緯が話され、ネルソン夫妻の長男ゼブ君が、就労の際に一般の作業所で引き受けてもらえなかったことが設立の引き金になったこと、また、ここの通所者に汗を流しながらの労働の尊さを知って貰い、ハワイ島の健常者と同じように最低賃金を保障していることが述べられました。実際、ここでは一般の公的作業所が行っている公的施設の清掃等ではなく、ハワイの代表的な植物のティーツリー等の栽培とオーキッド等の花を箱詰めする時、箱内部の衝撃止めとして利用される新聞紙の裁断作業をしております。高額な賃金を取得しているひとりの青年にその使いみちを尋ねると、楽しそうな表情で貯金して母親にプレゼントを買いとっていました。また、もうひとりの青年は、ジョブコーチからジョークでビールを買いとひやかされていました。プナカマリ作業所が企画したフェアウエルパーティーでは、日米の青年達が一緒にレイを作り、フラダンスを踊り、楽しい時間を過ごしました。

今回、このような素晴らしい受け入れをしてくださいましたハワイの関係者の皆様方へ心から御礼申しあげます。 今後は、この度の貴重な体験を生かして、エンジェルハウス・貸別荘に滞在してのチャレンジッドの国際性養成を目的とした ARC 又プナカマリ作業における短期・長期研修、その期間中の保護者のレスパイトプラン等を考えていきたいと思っております。



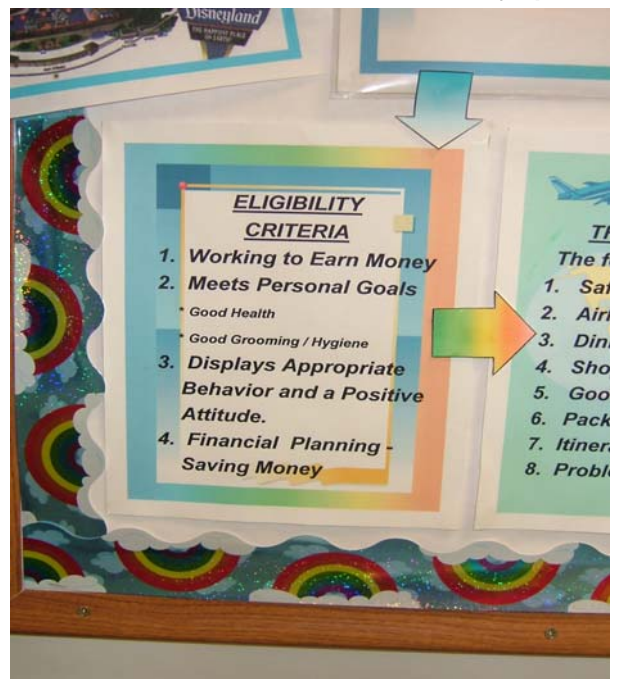
ハワイ州庁舎にて:ジェリーチェング下院議員と



ヘレマノプランテーションのコンピューター 実習



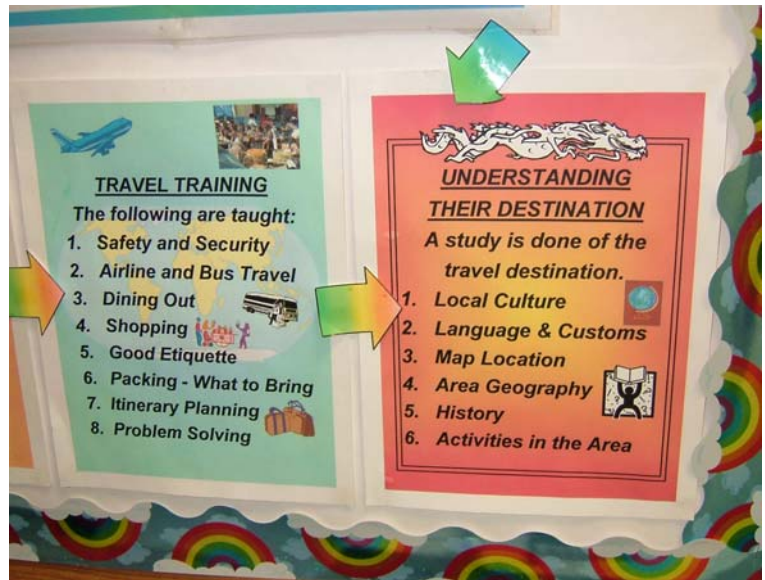
ハワイ州庁舎:州知事応接室にて



ヘレマノプランテーションの目標



ヘレマノプランテーションの仲間たちの歓迎





ヘレマノプランテーションの仲間と一緒に



素敵なフラダンスを踊りました



ヘレマノプランテーションのジョブコーチへプレゼント



プール付きの豪華な別荘でのディナー



ヒロ市長のハリーキムさんを訪問しました



ハリー市長はとてもやさしい市長でした



ARCの仲間たちとクッキー材料づくり



ARCの仲間たちとフラダンス！これで2回目上達！



プナカマリ作業所長からハワイの仲間たちの紹介



テイリーフの苗を仲間とジョブコーチと植えました



新聞紙のシュレダーじょうずに出来ました。  
プナカマリ作業所ネルソン副作業所長よりお誉めのことば。



ハワイの仲間と一緒にレイをつくりました



ハワイのジョブコーチも仲間たちも真剣です 施設長は少し疲れました。ハワイマッサージの達人登場



みんなで日本の童謡を歌いました。素晴らしい！



3度目のダンス！ もう問題ありません！



同じ親同士。小規模作業所の施設長同士。お互いに話に熱が入ります。



ハワイの親の会の皆様からプナカマリ作業所 訪問記念をいただきました。

施設長と母親は国際派でした。国際交流で大活躍！！

